

Express5800 シリーズ「Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS)」にて CPU 使用率が高くなることもある。」件について

日頃より弊社 Express5800 シリーズをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

下記のサーバ装置において Linux OS をご使用の場合、以下の事象が発生する場合があります。

対策版システム情報を以下に記しますので、ご適用をお願いいたします。

1. 障害事象

Red Hat Enterprise Linux Server システムにおいて、バージョン 1.4.2 以下の Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS)をご使用の場合、特定の条件において smad および smad_rev がループ状態になり、CPU が 100%消費されることがあります。

2. 対象機種

Express5800/R120h-1M

Express5800/R120h-1M (2nd-Gen)

Express5800/R120h-1M (3rd-Gen)

Express5800/R120h-2M

Express5800/R120h-2M (2nd-Gen)

Express5800/R120h-2M (3rd-Gen)

Express5800/R120h-1E

Express5800/R120h-1E (2nd-Gen)

Express5800/R120h-2E

Express5800/R120h-2E (2nd-Gen)

Express5800/T120h

Express5800/T120h (2nd-Gen)

Express5800/R110j-1

Express5800/R110j-1M

3. 対象 OS

Red Hat Enterprise Linux Server 6

Red Hat Enterprise Linux Server 7

Red Hat Enterprise Linux Server 8

4. 対象バージョン

Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS) バージョン 1.4.2 以下

※Red Hat Enterprise Linux Server システムご使用中のお客様で AMS 1.4.3 および 2.1.0 以上 (2.1.0 以上は Starter Pack S8.10-007.01 以降に含まれます)をご利用頂いている場合、事象は発生いたしません。

＜バージョン確認方法＞

以下の rpm コマンドでバージョンを確認します。

```
# rpm -q amsd
```

```
amsd-x.x.x-xxxx.xx.rhel7.x86_64
```

1.4.2 の場合は“amsd-1.4.2-1166.3.rhel7.x86_64.rpm”と表示されます。

“amsd-“の後の数字がバージョンになります。

amsd-2.1.x-xxxx.xx.rhel7.x86_64 と表示された場合、更新対応は不要となります。

5. 対策

① Red Hat Enterprise Linux Server 7.6 以上及び 8 をお使いのお客様

Starter Pack バージョン S8.10-007.01 を適用し、iLO5 ファームウェア、iLO5 日本語言語パック および AMS のアップデートをお願いいたします。

詳細は、下記 Starter Pack のダウンロードサイトをご確認ください。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-007.01

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108842>

② Red Hat Enterprise Linux Server 7.3 から 7.5 をお使いのお客様

iLO5 ファームウェア 1.47 および iLO5 日本語言語パック 1.43 へアップデートの上、AMS 2.1.0 へアップデートしてください。

◆iLO5 ファームウェア 1.47 および iLO5 日本語言語パック 1.43 のアップデート方法

以下のサイトをご確認の上、アップデートをお願いいたします。

iLO5 ファームウェア 1.47 / iLO5 日本語言語パック 1.43

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108738>

※iLO5 ファームウェア: バージョン 1.47 へアップデートされる際の事前確認(ご案内)にあります
AMS の個別アップデート手順はここでは不要です。

◆AMS 2.1.0 へのアップデート方法

下記 Starter Pack をダウンロードし、＜AMS2.1.0 アップデート手順＞をご確認の上、AMS のアップデートをお願いいたします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-007.01

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108842>

＜AMS2.1.0 アップデート手順＞

(1)Starter Pack バージョン S8.10-007.01 をダウンロード後、ISO イメージをマウントします。

packages 配下の amsd-2.1.0-1406.73.rhel7.x86_64.rpm を OS 上の任意のディレクトリに格納します。

(2)ターミナルを起動して(1)のディレクトリ配下に移動し、Linux 用アップデート RPM パッケージを次のコマンドにてアップデートします。

```
# rpm -Uvh amsd-2.1.0-1406.73.rhel7.x86_64.rpm
```

(3) rpm コマンドでインストール結果を確認します。

```
# rpm -q amsd
```

```
amsd-2.1.0-1406.73.rhel7.x86_64
```

(4)コンピュータを再起動します。

```
# systemctl reboot
```

③ Red Hat Enterprise Linux Server 6.9/6.10 をお使いのお客様

iLO5 ファームウェア 1.47 および iLO5 日本語言語パック 1.43 へアップデートの上、AMS 1.4.3 へアップデートしてください。

◆iLO5 ファームウェア 1.47 および iLO5 日本語言語パック 1.43 のアップデート方法

以下のサイトをご確認の上、アップデートをお願いいたします。

iLO5 ファームウェア 1.47 / iLO5 日本語言語パック 1.43

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108738>

※iLO5 ファームウェア:バージョン 1.47 へアップデートされる際の事前確認(ご案内)にあります
AMS の個別アップデート手順はここでは不要です。

◆AMS 1.4.3 へのアップデート方法

以下のサイトより amsd-1.4.3-1193.10.rhel6.x86_64.zip をダウンロードし、＜AMS1.4.3 アップデート手順＞をご確認の上、AMS のアップデートをお願いいたします。

アップデートの詳細は以下のサイトをご確認ください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010109035>